



平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月7日

上場取引所 東

上場会社名 OBARA GROUP株式会社

コード番号 6877 URL <http://www.obara-g.com/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 小原 康嗣

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 飯高 成美

四半期報告書提出予定日 平成24年5月14日

配当支払開始予定日

TEL 046-271-2124

平成24年6月12日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	15,290	△6.6	1,898	△8.7	2,132	△0.9	1,155	△29.3
23年9月期第2四半期	16,372	39.1	2,078	401.3	2,151	284.4	1,634	—

(注)包括利益 24年9月期第2四半期 2,669百万円 (31.6%) 23年9月期第2四半期 2,028百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第2四半期	59.46	—
23年9月期第2四半期	84.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年9月期第2四半期	34,527		23,440		64.7
23年9月期	31,983		21,210		63.6

(参考)自己資本 24年9月期第2四半期 22,344百万円 23年9月期 20,352百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	10.00	—	20.00	30.00
24年9月期	—	10.00	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,500	△14.0	3,500	△19.3	3,800	△10.7	2,600	△23.1	133.81

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年9月期2Q	20,869,380 株	23年9月期	20,869,380 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年9月期2Q	1,438,441 株	23年9月期	1,438,349 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期2Q	19,431,032 株	23年9月期2Q	19,431,101 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手した情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、(添付資料)P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(1) 地域別販売状況	11
(2) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済が緩やかな回復基調にあるものの、アジア地域における景気拡大スピードの軟化や欧州諸国における財政の先行き不透明感を通じた金融面への影響などにより、全体として混沌とした状況で推移しました。

我が国経済につきましては、依然として楽観できない状況が続いたものの、個人消費や企業の生産活動に一部回復の動きが見られるとともに、2012年2月以降は外国為替市場における円高が改善に向かうなど、上向きの動きが見られました。

このような状況のもと、当社グループと深く関わる自動車業界につきましては、アジア地域での自動車需要の拡大を背景として設備の増強が行われるとともに、生産活動についても活発な動きが見られました。一方、同じく当社グループと深く関わるエレクトロニクス業界では、民生用エレクトロニクス製品の減速傾向を受け、設備投資及び生産活動は、落ち着いた状況となりました。

当社グループは、このような経営環境に対応するため、各市場動向に応じ、設備品及び消耗品の拡販に努め、ローカルニーズの製品開発を加速させるとともに、技術革新・次世代装置など高付加価値製品の開発にも注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高152億90百万円(前年同期比6.6%減)、営業利益18億98百万円(前年同期比8.7%減)、経常利益21億32百万円(前年同期比0.9%減)、四半期純利益は、少数株主利益の増加、関係会社整理損失引当金繰入などにより、11億55百万円(前年同期比29.3%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 溶接機器関連事業

溶接機器関連事業につきましては、取引先である日系・アジア系自動車メーカーにおいて、アジア地域を主体に積極的な増産投資が行われ、自動車メーカー各社の高水準な生産活動が継続される中、当部門として設備品の需要拡大への対応並びに消耗品の拡販に努めたことなどにより、業績は好調に推移しました。

この結果、部門売上高は108億70百万円(前年同期比24.5%増)となり、部門営業利益は20億15百万円(前年同期比91.8%増)となりました。

② 平面研磨装置関連事業

平面研磨装置関連事業につきましては、取引先であるシリコンウェーハなどのエレクトロニクス関連素材において、設備投資及び生産活動の軟調傾向の中、一部回復の兆しも見られました。このような環境の下、当部門として設備品及び消耗品の拡販活動を各業界へ展開し、受注高では当第1四半期比増加傾向となりましたが、製品リードタイムの関係から売上面への寄与は限定的なものとなりました。

この結果、部門売上高は44億21百万円(前年同期比42.2%減)、部門営業利益は45百万円(前年同期比95.6%減)となりました。

(補足)

平成23年10月3日付の持株会社体制への移行に伴い、当期より報告セグメントに配分していない全社費用(1億61百万円)が発生しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は345億27百万円と、前連結会計年度末と比べて25億44百万円増加いたしました。現金及び預金が15億94百万円、有価証券が2億72百万円、棚卸資産が5億16百万円、その他流動資産が2億2百万円増加したことなどによります。

負債は、110億87百万円と、前連結会計年度末に比べて3億14百万円増加いたしました。支払手形及び買掛金が5億94百万円、賞与引当金が1億99百万円減少した一方で、短期借入金が3億52百万円、その他流動負債が7億57百万円増加したことなどによります。

純資産は234億40百万円と、前連結会計年度末に比べて22億29百万円増加いたしました。利益剰余金が7億66百万円、少数株主持分が2億38百万円、円安により為替換算調整勘定が11億61百万円増加したことなどによります。

2 キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は66億17百万円と、前連結会計年度末と比べて13億93百万円増加いたしました。

営業活動により得られたキャッシュ・フローは、16億71百万円となりました。税金等調整前四半期純利益が20億31百万円、減価償却費及びその他の償却費が2億80百万円、売上債権の減少額が8億38百万円、前受金の増加額が3億37百万円となった一方、賞与引当金の減少額が2億25百万円、未収入金の増加額が2億76百万円、仕入債務の減少額が8億8百万円、法人税等の支払額が5億39百万円発生したことなどによります。

投資活動により支出したキャッシュ・フローは5億34百万円となりました。定期預金の純増加額が1億27百万円、有形固定資産の取得による支出が3億4百万円、投資有価証券の取得による支出が1億24百万円発生したことなどによります。

財務活動により支出したキャッシュ・フローは2億6百万円となりました。短期借入金の増加額が2億44百万円となった一方、配当金の支払額が3億88百万円、少数株主への配当金の支払額が51百万円発生したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の連結業績予想につきましては、溶接機器関連事業において、アジア地域での業績が順調に推移していることなどから、当連結会計年度における営業利益、経常利益及び当期純利益は、平成23年11月14日に開示しました業績予想を上回る見通しであります。

詳細につきましては、平成24年5月1日に開示しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,198	8,792
受取手形及び売掛金	8,755	8,452
有価証券	32	305
商品及び製品	3,370	3,700
仕掛品	1,248	1,117
原材料及び貯蔵品	1,745	2,063
その他	1,133	1,336
貸倒引当金	△352	△397
流動資産合計	23,132	25,370
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,718	2,797
土地	3,217	3,262
その他(純額)	1,285	1,407
有形固定資産合計	7,221	7,468
無形固定資産		
その他	235	244
無形固定資産合計	235	244
投資その他の資産		
投資有価証券	585	656
その他	857	842
貸倒引当金	△49	△53
投資その他の資産合計	1,393	1,445
固定資産合計	8,850	9,157
資産合計	31,983	34,527
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,611	3,017
短期借入金	1,627	1,980
1年内返済予定の長期借入金	16	15
未払法人税等	432	436
賞与引当金	574	374
その他	2,585	3,342
流動負債合計	8,847	9,167
固定負債		
長期借入金	75	67
退職給付引当金	133	147
役員退職慰労引当金	58	59
その他	1,658	1,646
固定負債合計	1,925	1,920
負債合計	10,773	11,087

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,925	1,925
資本剰余金	2,373	2,373
利益剰余金	20,170	20,937
自己株式	△1,077	△1,077
株主資本合計	23,392	24,159
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49	112
為替換算調整勘定	△3,088	△1,926
その他の包括利益累計額合計	△3,039	△1,814
少数株主持分	857	1,095
純資産合計	21,210	23,440
負債純資産合計	31,983	34,527

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
売上高	16,372	15,290
売上原価	11,507	10,592
売上総利益	4,865	4,697
販売費及び一般管理費	2,786	2,799
営業利益	2,078	1,898
営業外収益		
受取利息	35	52
受取配当金	3	4
為替差益	0	159
受取地代家賃	27	22
その他	63	58
営業外収益合計	130	298
営業外費用		
支払利息	26	30
その他	30	33
営業外費用合計	57	64
経常利益	2,151	2,132
特別利益		
貸倒引当金戻入額	23	—
移転補償金	109	—
特別利益合計	132	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	69	—
関係会社整理損失引当金繰入額	—	100
特別損失合計	69	100
税金等調整前四半期純利益	2,214	2,031
法人税、住民税及び事業税	301	735
法人税等調整額	200	△51
法人税等合計	501	683
少数株主損益調整前四半期純利益	1,713	1,348
少数株主利益	78	192
四半期純利益	1,634	1,155

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,713	1,348
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23	62
為替換算調整勘定	291	1,259
その他の包括利益合計	315	1,321
四半期包括利益	2,028	2,669
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,925	2,379
少数株主に係る四半期包括利益	102	289

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,214	2,031
減価償却費及びその他の償却費	334	280
貸倒引当金の増減額(△は減少)	42	17
賞与引当金の増減額(△は減少)	△101	△225
受取利息及び受取配当金	△39	△56
支払利息	34	30
移転補償金	△109	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	69	—
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	—	100
売上債権の増減額(△は増加)	△912	838
たな卸資産の増減額(△は増加)	△975	△65
未収入金の増減額(△は増加)	△192	△276
仕入債務の増減額(△は減少)	50	△808
前受金の増減額(△は減少)	556	337
その他	△40	△15
小計	929	2,187
利息及び配当金の受取額	39	58
利息の支払額	△33	△35
法人税等の支払額	△594	△539
営業活動によるキャッシュ・フロー	340	1,671
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,025	△1,984
定期預金の払戻による収入	1,805	1,856
有形固定資産の取得による支出	△162	△304
有形固定資産の売却による収入	41	3
投資有価証券の取得による支出	△3	△124
投資有価証券の売却及び償還による収入	100	17
その他	△10	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△254	△534
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	705	244
長期借入金の返済による支出	△20	△11
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△194	△388
少数株主への配当金の支払額	△39	△51
財務活動によるキャッシュ・フロー	450	△206
現金及び現金同等物に係る換算差額	76	463
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	613	1,393
現金及び現金同等物の期首残高	4,086	5,224
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,699	6,617

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成23年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	溶接機器 関連事業	平面研磨装 置関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,728	7,644	16,372	—	16,372
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	0	3	△3	—
計	8,731	7,644	16,376	△3	16,372
セグメント利益	1,050	1,035	2,086	△8	2,078

(注) 1 セグメント利益の調整額△8百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	溶接機器 関連事業	平面研磨装 置関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,869	4,420	15,290	—	15,290
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	0	2	△2	—
計	10,870	4,421	15,292	△2	15,290
セグメント利益	2,015	45	2,061	△163	1,898

(注) 1 セグメント利益の調整額△163百万円には、セグメント間取引消去△2百万円及び報告セグメントに配分していない全社費用△161百万円が含まれております。なお、第1四半期連結会計期間から、持株会社体制に移行したことに伴い、当社において新たに報告セグメントに帰属しない全社費用が発生しております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 地域別販売状況

	日本 (百万円)	アジア パシフィック (百万円)	米州 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	5,340	8,240	1,335	373	15,290	—	15,290
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,540	917	24	13	2,496	(2,496)	—
計	6,880	9,158	1,360	386	17,786	(2,496)	15,290
営業利益	53	1,868	96	46	2,065	(167)	1,898

(2) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
溶接機器関連事業	8,732	+19.3
平面研磨装置関連事業	2,831	△19.4
合計	11,563	+6.8

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
2 金額は、販売価格で表示しております。
3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比 (%)
溶接機器関連事業	10,605	+13.1	2,541	+2.7
平面研磨装置関連事業	7,036	△1.1	7,491	+22.3
合計	17,641	+7.0	10,033	+16.7

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
溶接機器関連事業	10,869	+24.5
平面研磨装置関連事業	4,420	△42.2
合計	15,290	△6.6

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。